

の吉  
ホの  
待を  
込め  
た。関  
係者  
が着  
板を  
き

# 高齢者福祉、一層支援を

## 関係3団体 物価高で県へ要望書

物価の高騰が続く中、県老人福祉施設協議会(若山宏会長)と県老人保健施設協会(長縄伸幸会長)、県グループホーム協議会(加藤剛代表理事)は、さらなる財政的支援を求める要望書を県に提出した。

要望書では、公定価格の介護報酬で運営する介護事業について、コスト増を価格に転嫁することは難しく、光熱費などの削減にも限界があり、「経営努力のみでは対応することが困難な危機的な状況が続いている」と現状を説明。県からの支援は3月までに終了した一方で、さらに物価高が続いているため、食材料費は1日150円、光熱費は1人2万円の支援を求めている。

若山会長と長縄会長、加藤代表理事が県庁を訪れ、古田肇知事宛ての要望書を県の担当者に手渡した。若山会長らは「コロナ禍もあり、かなり厳しい状況は続いている。早急な支援を」と強調し、県側は「きめ細やかな対応ができるよう、早速対応していきたい」と応じた。

(湯浅裕作)

# 選挙戦に

## 決選

約も  
新人  
出選

選挙区でトップ当選した野村美穂国民民主党県連幹事長の支持も受ける。だが「うちは新しい風を吹かせる『町民党』だ」と訴える。一方、選挙戦に入った4町協議会で最も競争率が高いのは養老町協議選だ。「非常に厳しい戦い」。前回トツ



要望書を手渡す(右から)加藤剛代表理事、若山宏会長、長縄伸幸会長、県庁

